

## R P システム®のご使用にあたり

R P システムのご使用にあたりまして、下記の点にご留意頂くようお願い申し上げます。

### 1. R P 剤マスターバッグの開封は丁寧に

R P 剤の入っているアルミ袋（以下、マスターバッグ）を開封する際は、下記の手順に沿ってR P 剤を損傷しないよう丁寧に作業して下さい。

マスターバッグのノッチ（切り込み）から数cmゆっくりと開ける。

マスターバッグをゆすって脱気を解き、R P 剤を袋の底部に落とし込む。

反対側のノッチまで開封して、R P 剤を取り出す。

→以下、緑色の製品チラシ「R P 剤の正しい使い方」へ

### 2. R P 剤と製品は接触しないように

基本的にR P 剤を製品（対象物）と接触させないように投入して下さい。接触させないようにオレフィン系（P E、P P）の袋、フィルム、トレイ、緩衝材などの使用をお奨めします。

### 3. R P 剤に過度の重量や衝撃がかからないように

R P 剤に過度の重量や衝撃がかからないようご注意ください。製品が重量物である場合はR P 剤がつぶされないようにして下さい。また、製品による突き刺しにもご注意ください。鋭利な突起やエッジのある製品は緩衝材であらかじめ包装して下さい。

### 4. クリーンルームで使用する製品の包装は二重包装を

クリーンルームで使用する製品については、製品をクリーン対応のP E 袋で包装後、さらにガスバリア袋で二重包装し、R P 剤を内外袋の間に投入して下さい。

・位置関係：（外側より）ガスバリア袋 / R P 剤 / クリーン対応のP E 袋 / 製品

### 5. 静電気対策が必要な製品の包装は二重包装を

静電気対策が必要な製品については、製品を静電シールドバッグ（P E 袋）で包装後、さらにガスバリア袋で二重包装し、R P 剤を内外袋の間に投入して下さい。

・位置関係：（同）ガスバリア袋 / R P 剤 / 静電シールドバッグ（P E 袋） / 製品

### お願い

製品には万全を期しておりますが、万一事故品などお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡下さい。至急、良品と差し替えさせていただきます。なお、事故品に伴う保証は、弊社製品のみとさせていただきます。

### お問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社

特殊機能材カンパニー 脱酸素剤事業部 R P グループ  
東京都千代田区丸の内 2 - 5 - 2 三菱ビル 〒100-8324

TEL. 03-3283-5167、FAX. 03-3283-5187

URL: <http://member.nifty.ne.jp/rpsystem/>